

5978 <sup>KURAKU</sup>久楽世界の旅：西豪州・出会いの足跡 110

.....

マーガレットリバー泊、ペンバートン泊、そして、アルバニー泊。(5975の地図参照)  
アルバニーから、北上、ウエーブロックを目指し、大自然の中、約400キロを走破の予定。  
アルバニーまでの記録メモ、いろいろ心模様を書いている。

~~マーガレットリバーから、ペンバートンまで~~

ワイルドフラワーなどの花々は、今少し早い。(時期は、日本の10月まで)。  
出会う人に「おはよう」の挨拶をする。忘れがちなことを再確認。  
鳥の鳴き声。実に身近なところに多く見かける。  
マーガレットリバー、宿泊代は、オーストラリアドルで支払い。  
ペンバートンの宿泊はモーター。マーガレットリバーの宿泊代は2倍だった。

静かな環境の中では、ひとり旅ゆえに、頭の中ではいろいろ思い浮かぶ。  
岬や山の頂上、僻地や地の果てに行くことに、無意識に、好奇心を持っているようだ。  
インド洋、オーガスタ、海的美しさは格別。色調に興味を持つ、私には最高。

~~ペンバートンから南下、サウスコースト（アルバニー）まで~~

大自然の中の移動と、山登りを楽しむ1日。今日は、4WDの車が欲しかった。  
マウントフランクリンドの頂上へ。四方八方、森林。誰もいない。実に爽快な気分。  
頂上の岩場での風は強いものの、実に心地いい、充実のひと時。

支離滅裂なことを書いているが、その時、そう思ったのだろう。

ひとり旅の様子や、葛藤、など、思い浮かぶ。

ニュージーランドだったと思うが、カメラ3台持ったのトレッキング。

「You are a big fighter」と言われたことがあり、思い出した。

手が痛い、腰が痛いと思いつつも、できる時にはできるものである。

大自然の大木の中、地道に行く。まちがないかと、何度もチェックする。

30代では、30代の恐怖心。50代では50代の恐怖心、70代は70代の恐怖心。

その思いも違い、できることもある。

**意味が今ひとつわからないことも、書いている。 時に、心が乱れる。**

欲が出ないで、何か残せたらと、素直にやることができれば、なんとかなるように思う。

苦しい戦いをして、無事になんとか、ここまで・・・ 先のことはわからない、

との思いで、やっている。できる時に、できることを。

待ったなし、言い訳なし、後悔なし、邪魔くさがらず、実行する。

**くどいと、思いつつも、同じことを何度も、メモっている。** 多分、旅継続の、自分への鼓舞。

ペンバートン、再び訪れることができるか疑問。

人、物、自然との出会い、大切にしたい。

**偶然、思いつきで、カメラをやったことは、最高にラッキーである。**

人生をしみじみかみしめている。

人もいろいろ。国もいろいろ。思いもいろいろ。

自分で世界を歩いてみて思う。今やっていることが、つづけられて、

寄贈も含め、誰かのためになることを願っている。

私もいろいろな人に、助けられた。**今、目の前を、しっかりやって行きたい。**

**アルバニー**では、風が強く、**小雨**になり、これも一興。

港町特有の風で、心地いい。

今日は、急用ができたので、2項目だけ。

3日の京都の暑さもハンパなし。体温以上になっている。日課のママチャリ外出。  
お口直しに、夕景を。



こんな色彩に出会えるとは、何ともラッキー。

未知への領域への冒険。だから、やめられない。もちろん、身の程を考えながら・・・  
要領よく。年齢を重ねると、知恵も働く。

